

氏名	役職
伊藤 隆治	和光大学 准教授
重森 千青	有限会社 重森庭園設計 研究室 代表
前田 幸二	株式会社 山陰中央新報社 特別論説委員
大屋 誠	松江工業高等専門学校 准教授
青木 和幸	島根デザイン専門学校 校長
伊藤 勝久	島根大学生物資源科学部 教授
正岡 さち	島根大学教育学部 准教授
藤山 浩	島根県中山間地域研究センター 研究企画監
木原 明	国選定保存技術保持者 (町文化財保護専門委員)
糸賀 輝穂	雲南県土整備事務所 仁多土木事業所 所長
田部 英年	奥出雲町文化財保護専門委員
福田 充雄	奥出雲町文化財保護専門委員
石原 肇	奥出雲町自治会長会連合会 会長
石原 吉徳	奥出雲町自治会長会連合会 副会長

審議員一覧

十月二十九日、第一回となる奥出雲町景観審議会が役場仁多庁舎にて開催されました。この審議会は、既に施行されている景観計画と景観条例に沿って、町内の景観が良好に形成されるように推進するため設置されたものです。十四人の審議員の中から、互選により青木和幸、島根デザイン専門学校校長が審議会会長に選出され、早速、たたら製鉄に起因する文化的景観地の保護推進や、景観を阻害する要素の現状報告とその対策



などが話し合われました。審議の中では、町内に増えつつある空き家と景観への影響や、おろちループ周辺の景観の再構築などそれぞれの立場で発言し、活発な意見交換がなされました。今後も、町内に良好な景観を形成するため定期的に開催される予定です。

奥出雲の景観を守り、育てるための審議会 発足

などが話し合われました。

古事記ゆかりの地 比婆山連峰を歩く

船通山だけでなく、吾妻山から広島県庄原市の比婆山にかけても神話伝承地があり、古事記の中心舞台です。

十月二十一日に、県を超えて広域的な交流を促進するため、イザナミ伝承地を巡るトレッキングが比婆山で行われました。町内外から集まった二十人の参加者は、立烏帽子、比婆山御陵、大膳原、吾妻山国民休暇村のルートをとってトレッキングし、下山後は、庄原市比和総合運動公園で開催された「第二十回やまびこ祭」で、神楽や餅まきを楽しみました。



奥出雲和牛 島根県代表として長崎の舞台で健闘

「和牛のオリンピック」と呼ばれ、今回で第10回を数える全国和牛能力共進会が長崎県佐世保市を主会場に10月25日から開催され、7月に県代表に選ばれた四頭の奥出雲和牛が出品されました。

大会は九州の代表牛が上位を独占する中、阿井地区の勝田律江さんが出品した「いとむすめ号」が第3区（若雄の2）にて優等賞12席、同じく阿井地区の和泉英富さん、金倉博美さんが出品した「あずさ号」「あずさ二号」「ふくひら号」が第6区（高等登録群）にて一等賞3席と健闘しました。

10月29日、仁多庁舎前で報告会があり、出品者を代表し和泉さんが「宮崎県代表の出品に対する取り組み方、規模など全てに圧倒された。この悔しい気持ちを胸に、今日から次に向かって取り組んでいきたい」と決意を述べられると、参加者から大きな拍手が起きました。

奥出雲和牛の更なる飛躍が期待されます。



▲高等登録群の3頭

県立大学生による奥出雲探検

島根県立大学短期大学部「地域探検学」講座において、フィールドワークの一環として、阿井地区を中心に学生の奥出雲探検が行われました。グループに分かれた学生たちは、農家を訪れて直接話を聞いたり、自身が素敵に感じる自然や人々の暮らしを写真で切り取りました。

更に、探求マップを作成して地元の方に披露したり、農作業を実際に手伝ってみたりと、思い思いの奥出雲を感じる有意義な機会となりました。



▲農家を訪ね、話を聞く県立大学生



芸術文化祭・商工まつり

秋の恒例行事、芸術文化祭と商工まつりが開催され、多くの人で賑わいました。

【芸術文化祭】

11月3日から5日まで開催された第8回芸術文化祭では、各グループや個人の力作・秀作、子どもたちのかわいらしい作品などが多数展示され、来場者を楽しませていました。

また、4日にカルチャープラザ仁多で行われた芸能音楽祭には、町内から22団体が出演し、歌や踊り、演奏など、日頃の練習の成果をステージで披露しました。

【商工まつり】

10月21日に役場仁多庁舎周辺で、11月4日に役場横田庁舎駐車場で商工まつりが開催されました。会場には、商工会や地域の皆さんの出店が多数あり、来場者は秋の味覚を満喫しました。また、特設ステージでは、子どもたちの各団体の踊りや演奏、抽選会など多彩なイベントが行われ、大いに賑わいました。



さくらおうち湖祭り

十月二十一日、さくらおうち湖ポート競技施設周辺で「さくらおうち湖祭り2012」が開催されました。ステージでは、神楽やよさこい踊り、ご当地ヒーローシヨイなどのイベントが繰り広げられました。

また、湖面ではシーカヤック体験が行われ、参加者は、シーカヤックに乗って湖面からの景色を楽しんでいました。会場には、地元特産品を販売するテントが軒を連ねるほか、玉子料理の食べ比べをする「エッグフェスティバル」も同時開催され、秋晴れのもとたくさんの方で賑わいました。



▶シーカヤックに挑戦